小学校第１学年　国語科学習指導案

２０１９年１２月３日（火）５校時
四万十市立西土佐小学校　６名
指導者　柴　園美

１　単元名

「わたしの『大すき』をどくしょゆうびんでとどけよう」（全１２時間）
学習材　「おとうとねずみ　チロ」（東京書籍　１年）

２　単元について

育てたい資質能力

○人物の行動や会話に着目して、その場面の様子を想像しながら読む力【Ｃ（１）ウ】
○楽しんだり知識を得たりするために、本や文章を選んで読む力【Ｃ（１）カ】
○言葉には、意味による語句のまとまりがあることに気付く力【伝国イ（ウ）】
○自分が伝えたい相手に好きな人物を紹介するために、自分が紹介したい人物の様子や行動が分かるところを選ぶことができる力　【情報活用能力】

この単元で働かせたい見方･考え方

人物の行動や会話に着目して読み、人物の様子が表れていることを捉えたり、問い直したりする。

言語活動

「C読むこと」の言語活動例
「オ　読んだ本について、好きなところを紹介すること」

本単元で取り入れた言語活動
○物語を読んで好きな人物を見つけ、自分の好きなところを読書郵便に書いて自分が伝えたい相手に紹介する。
・人物の好きなところの行動や会話から場面の様子を想像して読む力が必要となる。
・自分の決めた相手に紹介するという目的を持って何冊かの本を読み、自分の好きな人物を選ぶことも必要となる。
・読書郵便を自分の決めた相手に紹介することで、目的意識や相手意識が生まれ、主体的に取り組むことができる。

教材の価値

「おとうとねずみ　チロ」（東京書籍　１年）

おばあちゃんからのチョッキを楽しみに待つおとうとねずみチロの行動や会話を中心に描かれた物語である。時や場所の変化による場面の展開も分かりやすく、チロの行動も捉えやすい。また、チロの行動や会話から場面の様子も想像しやすく、想像をふくらませながら読むのにふさわしい教材となっている。児童は、チロと自分を重ね合わせ共感を持って読んでいくことができる。

児童観

○本学級の児童は、７月に「おおきなかぶ」で、場面の様子を想像しながら物語の展開を楽しんで読み、全員で音読劇をして２年生に聞いてもらった。９月には「かいがら」で、１０月には、「サラダでげんき」で人物の行動や会話に着目し、場面の様子について想像を広げながら読む学習をしてきた。児童はみな意欲的に取り組むが、様子を表現する語彙が少ないため同じような表現になっている事が多い。単元テストにおける内容の読み取りは、90%以上できている。
○児童は学校図書館にも毎日のように通い、たくさん本を読むことができている。また、読み聞かせも楽しみながら聞くことができている。しかし、文章を読むのが苦手な児童もおり、文章から場面の様子を想像することもできにくく、物語の面白さを十分に味わうことが出来ていないと考えられる。

指導観

○第一次では、教師による本の読み聞かせを聞いたり、「読書郵便」の見本を見せたりして学習の計画を立て、単元のゴールイメージを持つ。そして、自分達が選んだ物語の中の好きな人物の読書郵便を作り、自分が伝えたい相手に紹介し、さらに、市立図書館に展示してもらうという学習の目的意識を持つ。また、並行読書では、本の題名と好きな人物を読書カードに記録させておく。
○第二次では、まず、時や場所の変化を押さえ教材文の大体を掴む。次に、チロの行動や会話に着目し、場面の様子を想像しながら読む。読み取りの際には自分の経験と結びつけながら具体的に感じとらせるようにする。そして、想像したことを話し合わせ、チロの好きなところをひとつ選び、選んだ理由を交流することで、とっておきの理由を決め「読書郵便」に書いて伝える。
○第三次では、記録してきた読書カードをもとに、読んできた本を振り返させる。その本の中から、自分が選んだ物語の好きな人物の好きなところを選ぶ。二次の学習を活かして理由を交流しとっておきの理由を決め「読書郵便」を作り、自分が伝えたい相手に紹介する。そして、紹介した相手の反応やそれを受けての自分の感想も交流する。

言語活動：物語を読んで好きな人物を見つけ、好きなところを「読書郵便」に書いて自分が決めた相手に紹介する活動

学習後に期待する児童の姿

単元末に期待する姿

○物語を読むとき、登場人物の会話や行動から様子を想像することで、物語を楽しみながら読むことができる。

他教科や今後の生活との期待できるつながり

○想像を膨らませながら読むことで、道徳でも中心人物の気持ちに寄り添って考えることができる。
○物語の登場人物に興味を持ち、読書への関心意欲が高まるようになる。

３　単元目標

○いろいろな物語を読んで、好きな人物を紹介する活動に意欲的に取り組むことができる。【関心・意欲・態度】
○場面の様子について、登場人物の行動を中心に想像を広げながら読むことができる。【Ｃ（１）ウ】
○楽しんだり知識を得たりするために、本や文章を選んで読むことができる。【Ｃ（１）カ】
○言葉には、意味による語句のまとまりがあることに気付くことができる。【伝国イ（ウ）】

４　単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・技能
いろいろな物語を読んで、好きな人物を紹介する活動に意欲的に取り組もうとしている。	場面の様子について、登場人物の行動を中心に想像を広げながら読んでいる。　【Ｃ（１）ウ】 楽しんだり知識を得たりするために、本や文章を選んで読んでいる。【Ｃ（１）カ】	言葉には、意味による語句のまとまりがあることに気付いている。

５　研究主題との関連

自ら学び、かかわり合い、自分の思いを表現できる児童の育成
～「読み」を通して～

主体的・対話的で深い学びを実現するために、単元計画を児童と考え、好きな人物の紹介を楽しんで取り組めるようにする。授業では、会話文を音読したり動作化をしたりしながら人物の気持ちを想像し伝え合う。お互いの意見を聞き合い深めることで想像の幅を広げるようにする。

６　単元計画

次	時	○学習内容 ・学習活動	評価規準 評価規準（評価方法）
1	1	○単元の学習の見通しを持つ。 ・読み聞かせを聞き、感想を出し合う。 ・単元計画を立てゴールイメージを掴む。 ・並行読書の進め方を確認する。	◎既習事項を思い出しながら、どのように学習を進めていけば良いか考えようとしている。（ノート・発言）【関】
2	2・3	○教材文を読んで内容の大体や人物について捉える。 ・教材文を読み、挿絵を見ながら時・場所を捉え、場面分けをする。	◎時や場所を表す言葉に着目し、挿絵も見ながら物語の大体を掴もうとしている。（ノート・発言）【伝国イ（ウ）】
	4・5	○チロの会話や行動から様子を想像し、チロの好きなところを選び出し紹介する。 ・チロの会話や行動に線を引く。 ・線を引いたところの様子について、叙述と結び付けて想像したことを書き込む。	◎会話や行動に着目して文章を読み、様子や気持ちを考えている。 （ノート・発言）【　Ｃ（１）ウ】
	6・7	○チロの好きなところを友だちと交流する。 ・チロの好きなところを選び、どうしてそこが好きか、好きな理由を「読書郵便」に書いて伝え合う。	◎チロの好きなところを選び、理由もつけて書き、紹介している。（ノート・読書郵便・発表）【Ｃ（１）ウ】
3	8・9・10（本時）	○自分が読んだ本の登場人物の好きなところを友だちと交流する。 ・登場人物の好きなところを選び、どうしてそこが好きか、好きな理由をノートに書いて伝え合う。 ・「読書郵便」を書く。 ・発表の練習をする。	◎登場人物の好きなところを選び、理由もつけて書き、紹介している。（ノート・読書郵便・発表）【Ｃ（１）ウ】 ◎読んだ本の中から好きな人物を見つけ、理由もつけてノートに書いている。（ノート・読書郵便・発言）【Ｃ（１）カ】
	１１・１２	○「読書郵便」を自分が伝えたい相手に紹介し、紹介した相手の反応と自分の感想を交流する。 ・自分が伝えたい相手に紹介する。 ・感想を交流する。 ・学習の振り返りをする。	◎「読書郵便」を使って、意欲的に好きな人物の紹介をしている。（ノート・発表）【関】

７　本時の目標

◎自分の選んだ好きな人物の行動や会話から場面の様子を想像し、好きなところとその理由を考えることができる。

８　本時の展開（９／１２）

	主な学習活動 ・主な児童の反応	□発問・指示・切り返し　◆評価規準（評価方法） ☆支援を要する児童への手立て　○その他の働きかけ
導入（３分）	１　言語活動の目的を確認し、単元ゴールに向けた本時への課題意識を持つ。	○誰に何のために紹介するのか確認する。 ・自分が伝えたい相手に、好きな登場人物の好きなところを紹介する。 ・児童一人ひとりの紹介相手やその相手にどのように言ってもらいたいのかを板書に表し、目的意識を継続させる。
展開（３７分）	２　本時のめあてを確認する。【全体】（3分） （自分の伝えたい相手）に『すき』がつたわるためのとっておきのりゆうを見つけ紹介しよう。	
	３　自分が選んだ人物の好きな理由を紹介し、話し合う。 【ペアで】（１２分） ・わたしは、「(本の題名)」という本の（登場人物）が好きです。 ・わけは、○○のところが優しいからです。 ・わけは、○○したところがかっこいいと思ったからです。 ・○○のところも優しいと思うから、この理由もいいね。 ・○○の行動は、勇気があるね。 ・わたしは、○○のところも好きだな。	○「おとうとねずみチロ」の「読書郵便」をもとに、登場人物の行動や会話に着目してきたことを想起させる。 ○事前に記録した読書カードの本の中から好きな人物の好きなところを選ばせておき、付箋を貼らせておく。 □「自分が選んだ人物の好きな理由は何ですか。ペアで紹介して話し合いましょう。」 ☆紹介するのが苦手な児童には語型を提示する。 ○とっておきの理由になるか交流させる。
	４　ペアで話し合った意見を参考に、書き加えることがあればノートに書き足し、好きな人物のどんなところを一番紹介したいか確認する。【個人】（7分）	□「友だちの意見を参考に、付け加えたり直したりするところがあれば、ノートに書きましょう。また、とっておきの理由を確認しましょう。」 ○話し合いの中で、会話や行動がより具体的に示すことができた児童や理由が増えた児童に発表させてから、書き加えの作業に入るようにする。
	５　好きな人物の好きが伝わるとっておきの理由を発表する。 【全体】（１０分） ・わたしは、「(本の題名)」という本の（登場人物）が好きです。 　わけは、○○のところが勇気があると思ったからだけど、話し合いで、○○のところでも勇気があることを見つけられました。	□「自分が伝えたい相手に好きな人物の好きが伝わるとっておきの理由が見つけられましたか。」 ○話し合いで改善したところを合わせて発表させる。 ◆読んだ本の中から好きな人物を見つけ、場面の様子を想像し、理由を紹介している。　（発言・ノート）
	６　学習をまとめる。（5分） 人ぶつのこうどうやかいわからそうぞうがふくらみ、とっておきのりゆうを見つけることができる。	
まとめ（５分）	７　学習の振り返りをする。 ・○○さんの意見を参考にして、勇気があるところをとっておきの理由にしたいと思いました。 ・友達の意見を聞いて、好きなところが増えたので、そこもいいなと思いました。 ・読書郵便を書いてお母さんに紹介するのが楽しみになってきた。	○本時の学習で分かったことを整理させ、次時の「読書郵便」完成へ向けての意欲を持たせる。

９　評価規準

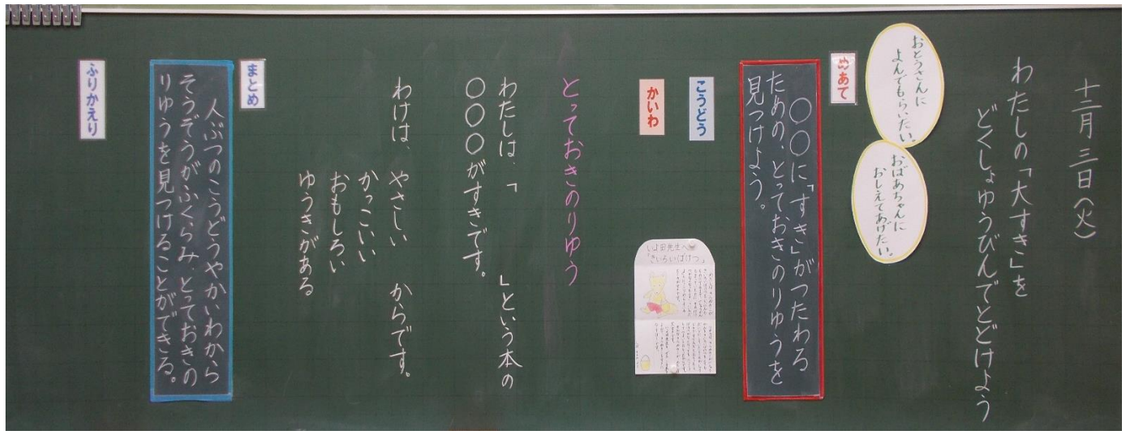
B　好きな登場人物の行動や会話に着目して、好きな理由を叙述と結び付けて場面の様子を考えている。

（ノート・発言）

・「きつねのおきゃくさま」の「おお、たたかったとも、たたかったとも。じつにじつにいさましかったぜ。」のところで、きつねがみんなのためにおおかみと戦って勇気があってかっこいいと思ったからです。

A　登場人物の行動や会話に着目して、好きな理由を自分の経験や複数の叙述と結び付けながら場面の様子を考えている。

（ノート・発言）

・「はずかしがりやのれんこんくん」の「ぼくの・・・いいところをみつけてくれて・・・あの・・・ありがとう・・・」のところと、「そう、だからきょうのれんこんくんは、ほんのちょっとだけいばりやさんです。」のところで、れんこんくんがみんなにほめられて自信がついてうれしいだろうなと思ったからです。

１０　板書計画